

10-2 大雨のときのことを考え、話し合ってみよう② — 災害のイメージを持ちましょう

風水害時のイメージを持ってもらうため、過去に起きた風水害を振り返ってもらいます。



風水害のときの状況や、被害の様子などのイメージを理解します。



時間軸

実施内容

以下の説明文【例】を参考にお話ししてください。

1 過去に起きた風水害の説明 (2分) ⇒資料10-1

説明文【例】

過去にどのような風水害があったか、これから3つの事例を紹介します。
(資料 10-1 を配付してください。)

2 大きな被害をもたらした水害の事例 (7分) ⇒映像12・13 ⇒資料10-1

説明文【例】

- ①これから資料 10-1 をもとに、兵庫県佐用町、新潟県三条市の事例を紹介します。
- ②次に、映像 12・13 (新潟・福島豪雨関連) を見てもらいます。

3 ある特定の地域で降った大雨によって人が亡くなった事例 (2分) ⇒映像14 ⇒資料10-1

説明文【例】

- ①これから資料 10-1 をもとに、兵庫県神戸市の事例を紹介します。
- ②次に、映像 14 (都賀川の水害関連) を見てもらいます。

4 土砂災害の事例 (2分) ⇒資料10-1

説明文【例】

これから資料 10-1 をもとに、熊本県水俣市の事例を紹介します。



風水害の被害をイメージ

5 まとめ (2分)

説明文【例】

風水害により、このような被害が発生します。このような被害が発生することをイメージして、次からの作業の参考にしてください。

●● 指導ポイント

台風や大雨による大規模な水害のほか、ゲリラ豪雨とも呼ばれる局地的な大雨による被害や、大雨により土砂災害が発生するなど、様々な被害が及ぶことを理解してもらうことが大切です。

●● 自主防災組織の関わり方

自分の経験も踏まえて、風水害の被害のイメージをお話ししてもらえると、さらに効果的にイメージが伝わります。

●● 準備するもの (目安)

準備品	数	備考
<input type="checkbox"/> 映像「新潟・福島豪雨関連」	1	映像12・13
<input type="checkbox"/> 映像「都賀川の水害関連」	1	映像14
<input type="checkbox"/> 資料「過去に起きた風水害」	人数分	資料10-1 (配付用)
<input type="checkbox"/> パソコン	1	
<input type="checkbox"/> プロジェクター	1	
<input type="checkbox"/> スクリーン	1	
<input type="checkbox"/> スピーカー	1	

●● ひと工夫

参加者の中に風水害を経験した方がいらしたら、その時の経験談を聞くと、さらにイメージがわきやすくなります。

●● 注意事項

3つの事例については、地域の事情に応じて必要なものを紹介してください (資料 10-1)。

- ①「大きな被害をもたらした水害」：兵庫県佐用町、新潟県三条市
- ②「ある特定の地域で降った大雨によって人が亡くなった事例」：兵庫県神戸市
- ③「土砂災害の事例」：熊本県水俣市